

● 充実の海洋レク基地

「サンマリーナ宮崎」は、海洋性のレクリエーション基地として二〇〇一（平成十三）年七月、宮崎市・一ツ葉浜に開設された。県が「宮崎・日南リゾート構想」の一環として進めてきた「みやざき臨海公園」の中に位置する。

海岸に沿って一ツ葉有料道路と、黒松の樹海が広がり、白砂青松の美しい海岸が見渡せる。この風光明媚な自然を背景に、変化に富んだ風が吹き、南九州でも有数のセーリング条件を備えており、クルージングの新しい拠点として早くも注目を集めている。

陸上二二・九畝、水面九・八畝、合計面積三一・七畝に及び、大型ヨットのクルーザー、モーターボートを百二隻（陸上七十隻）係留・保管することができる。一方、競技用のディンギーヨットは二百二十隻収容可能。

マリンスポーツを楽しむための設備を備えた



サンマリーナ宮崎。県外のクルーザーで雰囲気も華やぐ

施設としては、赤い屋根が目印となる「マリンスンター」があり、トイレ、シャワーのほか、講習会や会議に利用できる研修室が完備している。固定式クレーンを備えた上下架設施設では、最大重量二十トまで艇のつり上げが可能。このほか、艇の修理工場と、百五十台分の広いスペースを持つ駐車場も併設している。

そうした施設のほか、海辺の散策や護岸に設けられた「釣り公園」では、一年を通して釣りを楽しむ人たちににぎわいをみせている。釣り公園に沿って、東側一帯には緑地広場が続き、その向こうは小高い丘になり、海をよく見える展望台になっている。ここからのロケーションが格別である。

現在、このマリーナは、宮崎ジュニアヨットクラブ、宮崎セーリング連盟、県外洋帆走協会などに所属するヨットクラブや、モーターボ

トが中心となつて利用されている。

なかでも、毎月第二、第四土、日曜日の二日間、熱心なヨットクラブ員たちが子ども用のOP（オブティミスト・ディンギー）でレースの練習と育成に励んでいる。やがて力がつけば、県外レースや世界選手権大会を通して、オリンピック大会出場選手を送り出す夢も期待できる。そのためには全国的な規模から、国際的なヨットレースまでの誘致が必要であろう。周辺には世界に知られたゴルフ場から動物園、コテージまで整備されており、海洋性リゾート都市の明るい未来像を描き出している。

三又 喬